

令和4年 第3回 武豊町教育委員会 会議録

開催日 令和4年3月10日(木)

場 所 武豊町役場 全員協議会室

出席委員の氏名

教 育 長	加藤 雅也			
教育長職務代理者	小藤 省吾	委 員		永田 淑子
委 員	堤田 綾子	委 員		久田 徳彦

出席職員の氏名

教 育 部 長	靱山 英巳	学 校 教 育 課 長	森田 良孝
生涯教育課長	伊藤誠一郎	ス ポ ー ツ 課 長	田中 孝往
町民会館事務長	藤井 信介	歴史民俗資料館長	神谷 芳美
中央公民館長	石田 修	生涯学習課課長補佐	西川 正洋
町民会館事務長補佐	栗田 宗広	スポーツ課課長補佐	横田 覚
給食センター所長	青木 隆	学校教育課課長補佐	藤井 千絵
学校教育指導主事	稲垣 勉	学校教育指導主事	岩田 圭司

：欠席者

1. 開会 午前9時 00 分

2. 開会宣言並びに第2回定例会 会議録の承認

(教育長) 出席委員4名を確認し、会議の成立及び第3回定例会の開会を宣言する。

(教育部長) 次に前回の会議録のご承認をお願いします。会議録につきましては事前にお渡ししておりますので、すでにご確認いただいていると思います。この会議録について、ご意見、ご質問等あればお願いします。

《意見なし》

(教育部長) 特にご意見等もないようですので、前回の会議録は承認とします。会議録への署名と押印は、この会議が終わりましたら、担当がお願いに行きますので、よろしくお願いします。

(教育部長) それでは教育長報告をお願いします。

3. 教育長報告

- 2/10 ・ 定例教育委員会
- ・ 総合教育会議
- 2/14 ・ 定例校長教委管理職会議
- ・ 表敬訪問 (Smily Dream)
- 「家庭教育支援チーム」の推進に係る文部科学大臣表彰
- 2/16 ・ 教育課程研究会→オンライン

- 2/17 ・町食物アレルギー対応委員会
- ・表敬訪問 ブルグミュラーピアノコンクール 武豊小6年
- 3/ 1 ・臨時校長会
- 3/ 3 ・富貴中 卒業式
- ・臨時教育委員会
- 3/ 8 ・知教協
- ・臨時校長会
- 3/10 ・定例教育委員会

(教育部長) 議事進行を教育長にお願いします。

4. 議 事

議案第6号 令和4年度 吉町田湿地植物群落監視員の委嘱について(案)

(教育長) それでは、議案第6号 令和4年度 吉町田湿地植物群落監視員の委嘱について、事務局の説明をお願いします。

(歴史民俗資料館長) 資料1の説明

5名を委嘱(全員再任)

任期：令和4年4月1日から令和5年3月31日(1年間)

業務内容：日常的な植物群落の巡視と不審者の通報

(教育長) 本案を承認される方は挙手をお願いします。

<全員挙手>

(教育長) 本案を承認可決することといたします。

議案第7号 武豊町屋内温水プール開館時間の変更について(案)

(教育長) それでは、議案第7号 武豊町屋内温水プール開館時間の変更について、事務局の説明をお願いします。

(スポーツ課 課長) 資料2の説明

(教育長) 本案を承認される方は挙手をお願いします。

<全員挙手>

(教育長) 本案を承認可決することといたします。
議事が終わりましたので、司会をお返しします。

5. 報告事項

(1) 武豊町社会教育指導員について

(生涯学習課 課長) 資料3の説明

令和4年度社会教育指導員は、本年度任用の2名を来年度も任用する予定です。任用期間は令和4年4月1日から令和5年3月31日までです。会計年度任用職員として1年ごとの契約となります。

(2) 令和4年度 学校訪問について

(指導主事) 資料4の説明 日程の報告及び教育委員出席者の検討

教育委員は3校ずつ訪問をお願いしたいです。

(3) 令和4年度 定例教育委員会・知教協・幹事会の日程について

(指導主事) 資料5の説明

定例教育委員会開催日程の確認及び知教協・幹事会等への出席者の確認

(4) 令和4年度スポーツ課関連の行事について

(スポーツ課 課長補佐) 資料6の説明

年間の行事予定の説明

(5) 学校の近況について

(指導主事) ① 児童生徒の様子

② 長期欠席児童生徒数

(6) 当面する行事予定について

(指導主事) 資料7について説明

3月～5月の教育委員会行事・学校行事等日程

(7) 3月議会一般質問の概要について

(教育部長) ・宇宙関連事業に係るまちおこしについて

・屋内温水プールでの高齢者福祉について

・子ども・若者の支援について

・学校給食センターについて

・ICTの活用について

6. その他

(1) 町民会館より

(町民会館事務長) ・町民会館耐震工事計画について

・各種事業について

(2) 生涯学習課より

(生涯学習課 課長補佐) 資料8の説明

・令和4年度 生涯学習課の主要行事について

(教育部長) それでは、教育委員さんからご意見をお願いします。

(教育委員) ・ 富貴中学校の卒業式に参加をしました。本年度の卒業生は、新型コロナウイルス感染症の影響により、2年に渡って行事が縮小または中止になった学年です。夢と希望を思い描いた学校生活だったと思いますが、その実現は難しかったかもしれません。

しかし、そのような卒業生に対して、多くの方々のあたたかい気持ちが伝わってきた卒業式でした。コロナ禍により当日合唱ができないため、事前に町民会館で歌う様子を撮影したと聞いています。準備・編集等、先生方の大変な努力があったことと思います。また、式場である体育館は、PTAの方々が作成した横断幕やゲートに彩られていました。教職員、保護者の方々の卒業生に対する思いが詰まった素晴らしい卒業式でした。

新型コロナウイルス感染症が与えた影響はとても大きいと考えます。卒業生は、この経験を糧として、ものの見方・考え方を広げ、新たなスタートを切ってくれればと思います。

・ 不登校児童生徒が増えているという報告がありました。昔は、「学校は行くべきもの」という考えでしたが、現在は、「学校に行かない選択肢もある」という考えがあります。どちらがよいかはわかりません。しかし、様々な立場や視点から不登校の原因を分析することで、不登校児童生徒の自立につなげていくことを願っています。

(教育委員) ・ ロシアとウクライナ両国によって、争いが起きています。トルストイは、著書『戦争と平和』の中で戦争について、「誰にも無用で無益な困難が再来し、偽り欺きが横行し、そして人類の愚かさ残忍さを露呈した」と述べています。このような戦争を起こさないためには、教育は大切な要素と考えます。以前、緑丘小の学校訪問で、6年生の社会科における「日露戦争」を題材にした授業を参観しました。子どもたちは、「日露戦争」を様々な立場、異なる視点から分析し、自分の考えを構築していました。その上で、友達と議論をして、考えを深めていました。このように「考える力」を育てていくことが「平和」の実現に向けて大切なことと考えます。

・ 武豊町の町民憲章には、町民として大切にしたい心構えが記されています。五つあるうちの一つに、「家族の話しあいで、心のかよう家庭をつくりましょう」というものがあります。

例えば、子どもから、「新年度が不安だ」という発言があれば、保護者は「誰と一緒にのクラスになるのか楽しみだね」と切り返すとよいでしょう。家族の話し合いの中で、子どもに寄り添い、不安を取り除く言葉をかけることで、子どもの心は安定すると考えます。

その他にも、町民憲章には、「自然を守り、美しい環境のまちをつくりましょう」というものがあります。最近、吸い殻やマスクが道端に落ちている場面をよく見かけます。これは、コロナ禍により、人々のストレスが高まっていることの表れと考えます。美しい環境が整えば、人々の心がやすらぐと言えるでしょう。

今一度、町民憲章を振り返り、現在武豊町が抱えている問題の解決の糸口に生かしていけるとよいと思います。

・ ある新聞に、「ICT機器の扱いに困り、返却したい学校がある」ということが書かれていました。武豊町では、先生方の努力によって、タブレット端末等のICT機器が適切に生かされていると聞いています。その陰には、学校のICT環境の整備等、武豊町の関係者の支えがあったことと推察いたします。コロナ禍にも関わらず、様々なことに対応していただいている関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

(教育委員)

・ 武豊中学校の卒業式に参加をしました。卒業生全員に証書授与の機会が与えられたことで、一人一人が主役として輝いていました。また、感染症対策により合唱ができないため、当日は、事前に録音した子どもたちの声が流れました。卒業式の練習をする時間も限られていたと聞いています。先生方のご尽力に感謝いたします。

式の最後に、学年主任の先生が、「この子たちは、コロナ禍のため我慢することが多かった。しかし、制限された中で多くのことに取り組むことで、自分たちを支えている人の存在に気づき、他者への感謝の気持ちを高めることができた」と話されていました。

今後も他者に感謝する気持ちを大切にしてほしいと思います。その上で、他者の気持ちを想像し、他者を尊重する心を高めてほしいと願います。人に感謝し、他者を大切にできる力を高めることは、子どもの人格形成及び健全な社会の実現のために大切なことと考えます。

(教育委員)

・ 「卒業式、めでたい門出にもちよっとだけ気になるのは、子どもたちの思い出の量」ということが新聞に書かれていました。卒業生にとっては、コロナ禍によって、本来、学校生活でつくられるはずの思い出が、予想よりも少なかったのではないのでしょうか。しかし、その新聞記事には、「コロナ禍の困難に生徒同士が励まし合い、助け合ったこともたくさんあったはずだと信じている。それは特別な思い出になる」とも書かれていました。このコロナ禍での思い出が今後の子どもたちの成長の糧となることを願っています。

また、コロナ禍において、子どもたちが学校生活を送ることができたのは、先生方の様々な工夫によるところが大きいと考えます。今後も子どもたちにとって心に残る学校生活になるようにお力をお貸しいただければと思います。

・ 武豊町の小中学校でも、新型コロナウイルス感染症の罹患者が増えているとの報告がありました。罹患した子どもへの適切な配慮をお願いいたします。また、罹患を「マイナス」として捉えるのではなく、例えば、自宅待機中にタブレット端

未を生かしてICT機器の習熟につなげるなどして、その子にとって「プラス」の成長となるように支援していくことも大切と考えます。

(教育部長) ありがとうございます。以上をもちまして定例教育委員会を閉じます。

(一同) ありがとうございました。

作成者.....岩田...圭司